

ふるさと 通信員だより

vol.211

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



新通在住の高木誠さん（47・写真左）、高木万里子さん（55・写真右）、山本直人さん（34・写真中央）は、武術の杖道に励み地道な努力を続けています。杖道とは、二人一組で長さ128センチのシラカシの丸い杖を用いて太刀の相手を制圧する形武道です。第48回全日本杖道大会で、高木誠さんは5段の部で準優勝、山本さんは4段の部で準優勝しました。また、第32回北海道杖道大会では、山本さんが4段の部で優勝、高木誠さんが5段の部で準優勝と輝かしい好成績を収めました。

杖道歴10年以上の高木誠さんは「全国優勝を目指して頑張りた」と決意を述べました。山本さんは「技の深みや残心を意識して更に努力したい」と杖道を極める意気込みを話しました。



たかだ てつこ
高田 徹子 通信員

杖道を極める



小規模保育事業所・とかち帯広YMCA 保育園（南鈴蘭・川口豊園長）の2歳児クラスの園児5名が初めてのスケートを体験しました。

体育講師の芦澤先生が園児に無理なくスケートに慣れるよう丁寧に優しく指導しました。

最初はイスに座って足をトントン。次にリンクにお尻をつけて座る。四つん這いになり動いてみる。そしてイスを支えに前に進む感覚を体験。最後はご褒美です。芦澤先生がイスに園児を座らせ、後ろから押して滑りました。スイスイ動くイスに座っている園児はご満悦。ほっぺを真っ赤にしながらも、初めてのスケートは楽しい時間となりました。冬期間は5回程度スケートを行い、春からは水泳を楽しむそうです。



いしだ ひさよ
石田 尚世 通信員

初めてのスケート